

自分と家族を守るため…

できていますか？

もしもの『備え』



ここ数年、夏から秋にかけて集中豪雨や大型の台風が頻繁に発生し、日本全国で土砂災害や水害などの大きな被害が出ています。日頃から、『もしものときに備える』ことが大切です。また、集中豪雨や台風は、ある程度、規模や最接近する時間帯を予測することができます。テレビやインターネットなどで、最新の情報を確認し、早めの避難を心がけましょう。



❗**災害が発生する前に確認を!**
市では、自然災害が発生した際に、どのエリアが、どのような被害を受ける可能性があるのかを地図上に色分けして示した、ハザードマップを作成しています。洪水や土砂災害など、災害の種類ごとにハザードマップがあり、市内の避難所も記載しています。市役所や各住民センターで配布しているほか、ホームページでも確認することができます。家族で確認しましょう。
なお、令和元年度に、大上戸川・内田川の洪水ハザードマップを更新しました。

最新情報をチェック

防災ラジオ

気象警報や避難情報を、チャイムと音声でお知らせします。市内の各世帯や事業所に無料で貸与しています。詳しくは、安全対策課へお問い合わせください。



防災情報メールマガジン

気象情報や避難所の開設など、災害に関する情報をメールでお知らせします。QRコードを読み込み、空メールを送信して登録しましょう。



市ホームページ

緊急時には、トップページ上部に情報が分かりやすく掲載されます。また、大規模災害時には簡易版に切り替わり、災害に関する情報がより確認しやすくなります。

そのほか、ハザードマップや非常持出品の紹介などの防災情報も掲載しています。

市公式SNS

市公式フェイスブックやラインでは、イベント情報などだけでなく、緊急情報も発信しています。「いいね」または、友だち登録をして、緊急時に備えましょう。

LINE
Facebook

「警戒レベル」と「とるべき行動」

警戒レベル	警報 注意報 (気象庁・市)	住民が とるべき行動
5	既に災害が発生している	いのちを守るための最善の行動
4	特別警報	速やかに避難
3	気象警報	避難準備、 高齢者らは避難
2	気象注意報	避難所や 経路を再確認
1	警報級の 可能性あり	気象情報や ハザードマップを確認



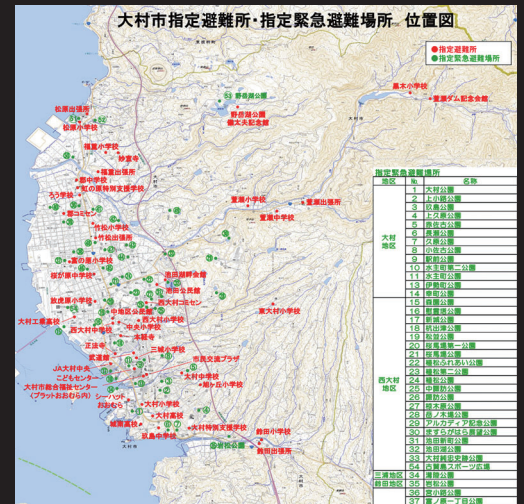
集中豪雨や台風などによって、水害や土砂災害などが発生する恐れがある場合、災害発生の「危険度」と「住民がとるべき行動」を5段階の「警戒レベル」でお伝えします。最新情報を確認して、早めの避難を心がけましょう。

あなたの避難所はどこ？

令和2年5月現在、市内には51カ所の指定避難所があり、災害の規模に応じて順次開設しています。開設した際は、防災ラジオなどでお知らせします。もしものときに備え、自宅や職場の最寄りの避難所を確認しておきましょう。



▶市内の避難所
一覧はこちら



避難所での感染症対策

新型コロナウイルス感染症が、全国に拡大しています。こうした状況で自然災害などが発生し、避難所を開設する場合、市では避難者の健康状態の確認や定期的なアルコール消毒、避難者への手洗い・咳エチケットの周知を行います。

【避難の検討】

「避難」とは「難」を「避」けることであり、自宅などで十分な安全を確保できる場合は、感染のリスクを負ってまで避難所に避難する必要はありません。

住んでいる場所が、土砂災害警戒区域や浸水想定区域に該当するか、ハザードマップで確認し、避難を検討しましょう。

避難所が過密状態になることを防ぐため、可能な場合は、安全な親戚や友人の家などへの避難を検討しましょう。

【健康状態の確認】

避難を検討する際は、前もって健康状態を確認し、風邪の症状や発熱がある場合は保健所などにご相談ください。避難所では、職員が検温などを行います。

【避難所での感染を防ぐ】

手洗いの徹底
こまめに手を洗いましょう。特に、手すりやドアなどの共用部分に触れた際は、

手を洗いましょう。

マスク着用と咳エチケット

マスクを正しく着用し、咳エチケットなどの基本的な感染対策を徹底しましょう。

十分な換気とスペースの確保

避難所では換気を心がけ、人との距離を2メートル以上確保することを意識して、可能な限り、密閉・密集・密接の「3密」を避けましょう。

【非常持出品を備えよう】

通常の非常持出品(水や食料など)に加え、感染症対策として、マスク、ウェットティッシュ、体温計、タオル、スリッパなども準備しておきましょう。

【緊急地震速報の訓練を実施します】

訓練日時 6月17日(水) 10時ごろ

Jアラート(全国瞬時警報システム)を使用した緊急地震速報の訓練が実施されます。いつ、どんな災害が起こるかわかりません。市内全域の防災ラジオで訓練放送が流れるこの機会に、家庭や職場などで受信確認や安全確保行動の訓練を行いましょ。

安全対策課(内線228)